

# アウトタイプ！ Active

～冬とかよしになろう～

Active ~冬とかよしになろう~

子どもたちが自ら進んで活動できるようにしたい！

子どもたちが生き生きと活動できるようにしたい！

子どもたちの新たな気付きをたくさん引き出したい！

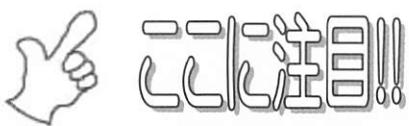


そのためには…？



大切なポイントがこの中に  
たくさん詰まっている！！

# アクティブ！ Active



## Active

子どもたちの主体的で、対話的な活動を生み出すための具体的な工夫を記しています。

## 気付き！

気付きの質を高めるための手立てや、子どもの活動を価値付ける具体的な教師の関わり方を記しています。

## あるある NG!

指導の中で、子どもたちの意欲が持続しなかったり、活動が停滞してしまったりすることはないでしょうか。失敗しがちな教師の関わりを記しています。

# はじめに

生活科を指導する教師の皆さん、『Active（アクティブ）！』をお読みいただき、ありがとうございます。

右の子どもの言葉をお読みください。

どこが素敵な表現ですか？  
そして、どんな言葉をかけますか？

雪遊びは、北国の子どもが生活経験の中で行っているものです。家庭内や単独で遊ぶより、たくさんの友達と遊ぶと違った楽しみ方ができます。また、雪遊びを通して、雪質と気温の関係など、様々な気付きも生まれます。



生活科の学習を通して、子どもは心も豊かに変容していくのです。  
感性豊かで、様々なことに前向きな  
子どもの心を育てるには生活科がおすすめです。

生活科は「人・もの・こと」という身近にある対象に子どもが関わる中で、自ら感じたり、気付いたりしていくことを大切にした教科です。関わりを通して、子どもには「自分の思い・願い」が生まれます。

教師はその実現に向けて、一人一人に適切に関わることが大切です。子どもの活動のよさや気付きを価値付けたり、教室全体に広げたりしていくことで、楽しく、意欲的に学び続けることができます。

この『アクティブ！』から「単元の進め方」「教師の関わりとして大切なこと」「大切にしたい気付きや学びのいろいろ」を感じていただけすると幸いです。



## 「人・もの・こと」って何？

**人**……学校の教職員、他の学年や学級の子ども、地域の人、ゲストティーチャーなど。

「人」と関わることで気付きが広がったり、深またりします。

**もの**…校舎、公園や図書館などの公共物、地域の店やその中にある道具、アサガオや野菜、虫などの生き物（栽培、動物など飼育）、樹木や草花、雪などの自然物、遊びを通して見付けたものや制作したものなど。

「もの」との関わりから、驚きや不思議さ、疑問や工夫が生まれます。

**こと**…探検、地域行事、遊びの工夫、校内の交流活動、幼稚園や保育園との交流、○○ランドや○○まつりのような広場や活動そのもの、お手伝い。

「こと」を対象とした場合、「人」との関わりやつながりが生まれるようにすると学びが深まります。



## 適切な教師の関わりは？

具体例はページをめくると載っています。子どもが「人・もの・こと」に関わり活動した時に生みれた思いや願いを大切にします。

- ①声を掛け思いや願いに寄り添う。実現に向けて励ます。一緒に○○する。
- ②思いや願い、活動のよさを認める。価値付ける。他の子に広げる。
- ③活動が停滞した時に適切に方向付ける。単に教えるよりも気付かせる。
- ④記録を積み重ねることで、自分の活動や関わりのよさに気付かせる。

\* カードや付箋など。様々な方法は後述。

- ⑤評価する（伸びた力、学びの具体、足りない力、次の活動に向けて）。
  - ⑥次の学びを予想する。次の学びと子どもの思考、気持ちをつなぐ。
- 一人一人の考え方や活動、学びは違います（傾向の把握や分類は可能です）。

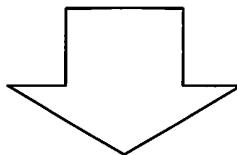
一人一人の考え方や活動、学びは違います（傾向の把握や分類は可能です）。ですから、教師も日常から確実に記録、評価ができるようにしましょう。最初は1授業時間で数人しか関わりをもてないこともあります。そのような場合、子どもが書いたカードなどから、気付きやよさを見取ります。また、活動を振り返り、自分自身のよさに気付かせることも大切です。



## 生活科で育てたい力とは？

評価の観点は次の通りです。

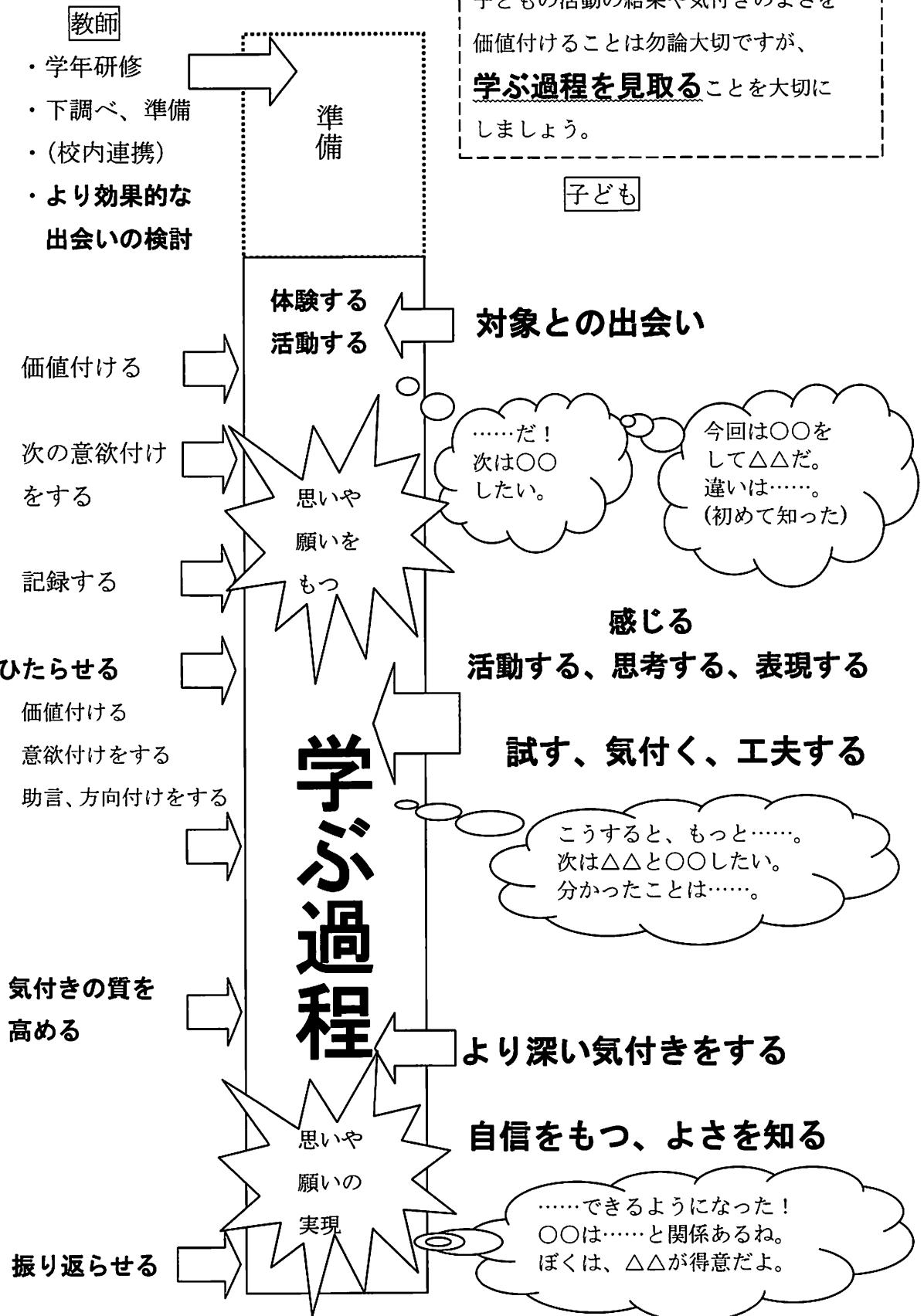
- ◎具体的な活動や体験から、対象と自分との関わりに興味・関心をもつ
- ◎自分自身や自分の生活について理解を深める
- ◎生活上必要な習慣や技能を身に付ける



そして、このような子どもを育てましょう。

- ・進んで行う
  - ・対象に直接働きかける
- ・自分の思いや願いを表現する
  - ・試す、工夫する
- ・活動にひたる
  - ・考える、予想する
- ・感じる
  - ・気付く、分かる
- ・比べたり関連付けたりする
  - ・自分のよさや成長を知る
- ・自分の生活に生かす
  - ・よりよい生活を考える、創る

## <<学習の展開例>>





## ■はじめに

..... P1

## ■「雪」を題材にした

単元づくり..... P6  
・身に付けたい力を明確に！  
・どの内容で扱うかを考えて！

## ■冬を楽しむ

～年間を通じて～ ..... P8  
・同じ公園に通い 遊ぶ  
・同じ場所を比べてみる

## ■冬を楽しむ

～持ち物 ルール～ ..... P10  
・楽しく遊ぶための留意点  
・楽しく遊ぶための準備や道具  
・楽しく遊ぶためのルール

## ■冬を楽しむ

～雪像づくり～ ..... P12  
・グラウンドでミニ雪まつり  
・友達と計画を立て、協力してつくる

## ■雪遊びをしよう

..... P14  
・遊びの中にも目的を！  
・米袋を活用しよう！  
・休み時間を有効活用！

## ■冬を楽しむ

～スノーワンダーランド～... P16  
・子どもたちの思考の流れに沿って  
・いつでも遊べる  
「スノーワンダーランド」

## ■キャンドルの輝きを

体験しよう ..... P18  
・キャンドルをバケツでつくる

## ■雪を生かした活動を

全校に広げる ..... P20  
・どの教育活動で実践できるか考える  
・PTAと連携した冬の活動

## ■イグルーをつくってみよう… P22

・イグルーづくりのポイント  
・イグルーのつくり方

## ■雪まつりに行こう

... P24  
・単元のどこに位置付けるかを考える！  
・人とたくさん関わる！

## ■活動後の表現活動

..... P26  
・伝え合い、交流する場を工夫する！  
・振り返りを大切にする！